

朝来市行財政改革推進委員会 第8回会議 会議録

- **開催日時** 令和5年9月26日（火）15時00分～15時45分
- **開催場所** 朝来市役所本庁舎 3階 庁議室
- **出席者の氏名**

出席者	欠席者
委員	委員
恵 阪 寿 人	下 口 光 子
片 山 剛 伸	玉 田 恵 美
北 見 龍 彦	
倉 田 良 樹	
中 島 し の ぶ	
山 本 正 之	
事務局 企画総務部 総合政策課	事務局 企画総務部 総合政策課
政策担当部長 掃 部 直 樹	政策担当部長 掃 部 直 樹
総合政策課長 和 田 幸 司	総合政策課長 和 田 幸 司
課長補佐 馬 袋 真 紀	課長補佐 馬 袋 真 紀
課長補佐 太 田 晋 平	課長補佐 太 田 晋 平

- **傍聴者** なし

○ **会議**

1 **開会**

第7期朝来市行財政改革推進委員会の第8回会議を開催します。

2 **あいさつ**

倉田会長 こんにちは。出席いただきありがとうございます。第7期行財政改革推進委員会は、昨年11月から始まり、昨年度は主に補助金の外部評価の実施、本年度は第4次朝来市行財政改革実施計画の検証や事務事業評価の外部評価を実施してきた。本日は、事務事業評価の外部評価について、市長へ中間答申を提出する予定である。委員の皆さんには、本日もよろしくお願ひしたい。

3 **審議**

(1) **朝来市行財政改革推進の在り方について中間答申(案)について**

資料1「朝来市行財政改革推進の在り方について(中間答申)(案)」により、答申内容について説明。

倉田会長 中間答申案は、総論部分と個別の事務事業評価と2部構成になっている。何か、御意見や御質問等はあるか。

倉田会長 外部評価をしていて、一つの事務事業に複数の取組が盛り込まれていて、全体として何を指そうとしているのかが分かりづらいということを感じていた。中間答申の中に「インプットとアウトプットとの連動が分かりにくい」とあるが、それはそのことを指していると解釈して良いか。

事務局 そのとおり。この部分は、第6回委員会の事務事業評価に対する総括コメントのときに会長から発言のあった内容である。具体的には、例えば、壱岐市との交流事業では、事務事業目的に多くことが盛り込まれており、さらに、本事務事業以外にも様々な主体が壱岐市との交流に関する取組を行っていることから、一つ一つの取組に対する効果が見えづらいという意味の発言であったと理解している。

倉田会長 そのとおりだと思う。壱岐市との交流事業だけでなく、一つの事務事業に複数の取組が盛り込まれていることがあるが、中間答申を経て、市としてはこの事務事業を継続していく中では、どのように改善していく予定か。

事務局 事務事業を取組ごとに分割すれば、執行をしていくうえで効率的ではないところがあるため、事務事業を複数に分割していくことは難しいと考える。しかし、事務事業内で行われている様々な取組ごとに、成果指標や成果達成指標を明確に設定し、一つ一つの取組に対する効果検証を分かりやすくするといった改善方法があると考えている。その他、事務事業全体としては「改善」の評価であるものの、その中の取組ごとでは「段階的廃止」とあるものについては、その意見を尊重しながら、在り方を検討していくことになる。

倉田会長 成人式開催事業は、外部評価意見でもあったとおりUターン就職につながる機会でもある。中間答申内容と直接的には関係ないが、移住定住や関係人口の創出等にもつなげようと思うと、取組部署は今の担当課から広がることになるのか。

事務局 成人式開催事業の担当は、生涯学習課が主担当課であるが、今後は、必要に応じて、関係課が連携しながら進めていくことになる。

倉田会長 ほかに、御意見・御質問等はあるか。

委員 意見なし。

倉田会長 御意見・御質問等が無いので、この内容で中間答申を行うこととしたい。

4 中間答申

会長から副市長へ「朝来市行財政改革推進の在り方について（中間答申）」を提出。

※市長が他の公務のため急きょ行財政改革推進委員会に出席できなくなり、副市長が代理で授与。

5 市長との意見交換

事務局 最初は、令和5年度に審議いただいた内容や感想を中心に各委員から発言をお願いしたい。

恵阪委員 率直な意見として、限られた人員の中で、的確に行財政改革が推進されていると思う。一方で、旧来からの事業が継続されているものもあり、人口動態を踏まえつつ、事業改善を図ってほしい。

片山委員 どの事業も工夫されて実施されている印象を受けた。しかしながら、事業目的を忘れ、事業消化になっている事業も見受けられた。数値的な目標が先行することがないように、どうしてこの事業を実施しているのかといった原点に振り返りながら事業を推進していく必要があると感じた。

北見委員 住民のための事業であるにも関わらず、人口動態が変化している中で地域住民がそれらの事業を受け止めることが難しくなっていたり、ストレスを感じていたりしている事業があると、審議の中で感じた。その点を鑑み、地域住民が疲弊しないようバランスをとりながら事業を推進していく必要があると感じた。

中島委員 素晴らしい事業が展開されていることが分かった。一方で、人口減少や時代の変化の中で、事業も変化をしていく必要がある。地域とのつながりが希薄になる中で、事業の改善を図るときは、その点もしっかりと踏まえながら進めていく必要があると感じた。

山本副会長 職員は職員数が減少していく中で良くやっていると思う。その中で、今までしていた事業を引き続きするというのでは事業の運営にしかない。事業の中には、経営感覚を持ちながら、新しい考え方を入れ、改革を進めていく必要があると感じた。

倉田会長 外部評価を実施した全ての事務事業評価は「改善」という結果になっており、出来る限り市政に反映してほしい。

印象的なことは、生涯学習推進員設置事業については、生涯学習推進員を設置していることが目的になっており、事務事業名称としてはすぐわないのではないかと感じた。生涯学習推進員は大切ではあるが、生涯学習推進員以外のリソースを活用しつつ朝来市の生涯学習を推進する発想もあっては良いのではないかと感じた。

副市長 本席に市長が出席する予定であったが、南但広域行政事務組合議会の開催が予定より長引いており、代理で失礼する。

合併して18年が経過する中で、新たな視点で事務を進めていかなければならないと思っている。今週末には行政評価の二次評価を予定しており、10月

からは令和6年度予算編成時期にもなる。また、明日は9月議会の最終日であり決算認定をいただく予定である。それらの意見も踏まえながら、予算編成につなげていきたい。

事務局 本日の中間答申に向けて、昨日、市長に中間答申内容について説明を行った。その中で、市長は、中間答申としていただいた御意見は全てごもつともな御意見ばかりであると受け止め、週末に行う行政評価の二次評価や令和6年度の予算編成に反映していくと述べていたため、この場でおつなぎする。市長からは中間答申をいただいた全ての事務事業について、一つ一つ今後の方向性等を述べさせていただく予定だったと思うが、出席できず申し訳ない。

倉田会長 合併して18年が経過する中で、合併して良かった点や成果はどのような点があげられるのか。

副市長 旧来からの事業について、改善が必要なものもあるが、一方で良いものは引き継ぐことも大切である。現在、半数以上の職員が合併後に採用された職員となり、旧来に捉われず事業実施につながっていると考えている。

事務局 旧町の良い点を互いに活かしあいながらまちづくりを進めている。住民主体のまちづくりや、市民一人一人を中心に据えたまちづくりは、合併以降、変わらないまちづくりの大切な視点である。財政状況については、職員数の減少もあり、事務事業も再編を行いながら健全財政を維持しながら進められていることは、合併の成果であると考えている。

事務局 行財政改革に関すること以外でもご意見があれば、発言をお願いしたい。

山本副会長 あさご元気応援券の配布方法は公平であったが、プレミアム付商品券は購入を希望された方が購入できず不公平感があった。また、あさごPayはデジタルに弱い高齢者が購入できず不公平感があった。

副市長 担当課や事業を委託している商工会とともに、御指摘いただいたことなどを含む課題や今後に向けた改善内容は共有している。今後はその点を留意しながら進たい。

6 その他

(1) 第7回会議会議録の確認について

9月11日付で委員各位には会議録の確認依頼を行った。委員からは変更等についての連絡がなかったため、確認いただいた内容で会議録を確定する。

(2) 次年度の会議の開催時期について

本年度の行財政改革推進委員会については、本日、市長に中間答申の提出を行っていただいたため、今回の会議が最後となる。

令和6年度の行財政改革委員会については、4回程度の開催を予定している。開催時期や審議内容については、7月中旬ごろから10月下旬までに、第4次行財政改革大綱の進捗状況確認や団体運営補助金を対象に補助金の適正化に係る外部評価を予定している。開催日が決まり次第、お知らせする。

7 閉会

政策担当部長 本年度は本日を含め計4回にわたり、活発に議論をいただき、ありがとうございました。

第4次行財政改革大綱の進捗状況確認では、的確に検証をいただいた。また、事務事業評価の外部評価については、専門的見地、さらには市民視点で公平に評価をいただいた。中間答申としていただいた御意見の内容は、行政評価の二次評価につなげ、さらに、新年度予算に反映していきたい。

次年度も、引き続き委員の皆様の御理解と御協力をお願いしたい。ありがとうございました。